

事業所名

塩竈市ひまわり園 ひまわりクラブ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		認定NPO法人さわおとの森は利他の精神に基き、地域と共に歩み、地域の福祉の担い手として社会福祉活動を推進していきます。		
支援方針		「楽しみながら成長できる支援」・・・「楽しい」という気持ちから利用児童が能動的に動き、利用時間のなかで「できた」を増やしていきます。 「安心できる環境作り」・・・小集団の落ち着いた環境で、好きなことや遊びを通し気持ちをリフレッシュできるように努めていきます。 「個に着目した支援」・・・児童の個性・特性にあった支援や活動を提供することで職員との関係を構築しながら社会性を育てていきます。		
営業時間		9時00分から	17時00分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 声掛けでトイレに誘導することで清潔な状態を維持し、気持ちの良い状態を実感してもらい自発的な働きかけを促していきます。 着替えの時には衣服の畳み方、ボタンの閉め方、衣服の整え方等、手本を示しながら一緒に実施していきます。 おやつ皿、お茶の準備や遊んだ後の片付けを一緒に行い、基本的な生活スキルの獲得を促していきます。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 鬼ごっこや散歩等を通し身体を動かしていきます。また、アスレチックやブランコ等を通して姿勢を保持することで体幹を鍛えるように支援していきます。 専門職の指導のもと、必要に応じ側湾の防止や四肢の可動域を広げられるようマッサージやストレッチを実施します。 音楽（聴覚）、シャボン玉（視覚）、足湯（触覚）等で五感を刺激したり、制作では道具を用いた作業を通し、手と目の協調運動を意識した活動を実施します。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> はじまりの会でスケジュールを確認することで見通しを持った行動ができるようにします。場合によってはイラストを用いることで利用児童が理解できるよう働きかけます。 利用児童の特性・個性を把握し外出することで苦手なことに対処する術を一緒に考え、実行していきます。 クッキングでは畑で収穫した野菜や買ってきた食材を用いることで、食べ物ができる過程を理解しその興味から摂食を促します。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語、イラスト、ジェスチャー等利用児童に合わせた方法で理解しやすいように伝えていきます。 利用児童の要求に対し、言語・非言語での発信を促すことで気持ちを伝えられたという経験を積んでいきます。 七夕飾りでの短冊・カルタ・書初め等、文字を書いたり読んだりする活動を通し読み書き能力の向上を促していきます。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の事業所と交流し活動することで、たくさんの人と関わり社会性を育てていきます。 ウォークラリーを通して標識や信号の存在に気づいたり、交通ルールを学んでいきます。 お店での買い物、プラネタリウム、工場見学等、外部での活動を通し場所毎の過ごし方を学んでいきます。 		
家族支援	年に2回の保護者面談や送迎の際に、相談・助言することで保護者様の不安や悩みを解消していく。また、利用児童の特性や学年に応じた情報も必要であれば保護者様へ発信していく。	移行支援	利用児童の成長に合わせた社会資源（事業所・サービス）の情報を提供していく。将来の不安や課題に職員と向き合うことで、環境の変化に対応していく。	
地域支援・地域連携	関係機関と情報共有を図り、利用児童のライフスタイルの変化に対応できるように努める。学生ボランティア・実習生、他事業所との交流を図る。	職員の質の向上	人材育成研修の参加や、外部の研修に参加。支援会議・職員会議による意見交換。	
主な行事等	4月：お花見・避難訓練（火災） 5月：公園遊び・制作 6月：室内ゲーム・畑作業 7月：他事業所との交流会・水遊び 8月：おでかけ・お買い物 9月：ウォークラリー・制作 10月：クッキング・ハロウィン 11月：避難訓練（地震）・室内ゲーム 12月：社会体験・クリスマス会 1月：他事業所との交流会・初詣 2月：クッキング・お買い物 3月：公園遊び・制作			